

一、事業主側

事業主側ニ於テハ雇員ノ偏見見逃三郎所在ヲ前晦セリヨ以テ
労賃交渉ノ機会ナク其後何等ノ進展ヲ見ズ然トシテ特異ノ
事項ナキモ事業主側ニテハ「スキマ」等ト社カニ連絡シ後
業員ノ統制乱ル、ソ待ハテ交渉ヲ開始セントムル模様ナリ

ニ、従業員側ノ状況

従業員側ニ於テハ既ニ争議ニ入りテ、約ニヶ月ヲ至過シ甚
敷資金ノ不足並ニ従業員ノ生活難ニ陥リ為ニ活潑ナル争議
継続スル能ハス大勢ハ一日モ早ク争議ノ解決ヲ希望セルモ目
下ノ状況ニテハ到底圓滿ナル解決ハ貴束ナク従業員側ノ一般
状況ハ多少悪化ノ傾向ナルモノ、如シ然レ共十月四日経業
員中、女工十二名ハ王子山公園ニ市長代理藤江男工明ヲ訪問
シ本争議ノ経過ヲ詳細事情ニ関シ争議解決ノ進退等々ノ概
況方ヲ懇請シ引上ケタリ

三、争議批判演説會ノ状況

場所 王子町大字塚、内進誠館

日時 十一月四日午後七時—九時四十分

目的 演題 東セル争議批判演説會

主催者 田中謙一

聴衆 従業員一五〇名 一般町民五〇名

弁士 佐藤英雄 矢野宿子 石川秋利 永井四郎

外男女七名

中此六名ニシテ各弁士ハ何レモ本争議ノ真相ト事
業主並ニ警察当局ノ不審ヲ叫ハ大同小異ノ演説ヲ
爲シタリ

四、警察事故

前記集會聴衆中、従業員五名ノ者ハ喧騒セルニヨリ臨場警察
官ヨリ退場ヲ命ゼラシタルカ其ノ瞬間何者カ場内ノ燈ヲ消